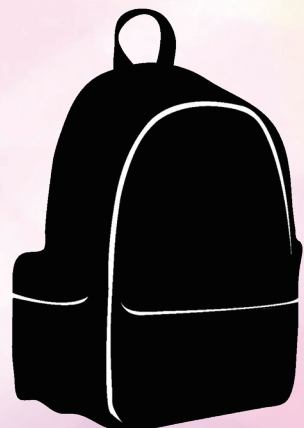


あなたのオタクの世界 知らない

「オタク」という呼称にマイナスイメージがついていたのは今は昔の話。この十数年でオタクは激増し、いまやアニメやアイドルのみならずあらゆるジャンルに「推し」と「オタク」が存在する時代だ。しかし、ここで敢えて問う。「推し」とは、そして「オタク」とはどのような存在なのだろうか。当企画ではその実態や変容を「推し活」の調査から徹底的に追究する。80億人が住むこの地球で唯一無二の「推し」を愛する彼らの未来やいかに。



Contents

- P.25 みんなの推しは誰?
- P.26 界隈別オタク図鑑
- P.28 オタク別マトリクス
- P.29 フリーライター・横川良明さん2インタビュー



みんなの推しは誰?

早稲田大学マスコミ研究会の公式Twitterにて推し活事情についてのアンケートを実施。約70名の方から得た回答の集計結果を一挙公開します!

1位	男性アイドル・アーティスト
2位	女性アイドル・アーティスト
3位	アニメ・漫画・ライトノベル
4位	俳優
5位	お笑い芸人

企画員コメント
やはりアイドル・アーティストの人気は根強かった。一方、アニメ等が俳優を抑えてTOP3に入るなど二次元文化の勢いを物語っている。さらに目を引くのは5位の「お笑い芸人」だ。たしかに最近では「かわいい」や「カッコいい」を売りにした芸人も多く、芸人のあり方も変わってきているように思える。

推しと出会ったきっかけは何?

出会いのおもしろきっかけ集

<p>前の推しが</p> <p>出演していた番組を見て</p> <p>推しの冠番組を観ていた時、「出演していたゲストの子、なんかカッコイイかも!」とつい目移り。気づいたら新たな推しへの恋に落ちているのってあるあるですね。心は移ろいやすいものです。人間だもの!</p>	<p>コロナ禍による</p> <p>SNS乱用</p> <p>コロナにより著名人のSNSが活発化し、同時に増えた暇な一般人がそれを見る場になった。まだまだ歴史は短いかもしれない。それでも今回の出会いに感謝し、未永く推しと共にあることを心から祈っております。</p>
--	---

WITHDOM ROY 男性アイドル・アーティスト

路上ライブ

齋藤飛鳥と他2人 女性アイドル・アーティスト

友達のすすめ

死神本帯 アニメ・漫画・ライトノベル

アニメで見て、その狂気に憧れを抱いてしまっから

元彼の置き土産

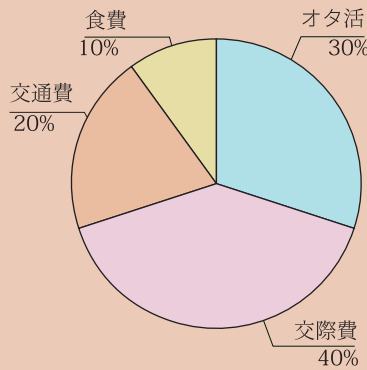
未だかつて、これ程までに切ない推しとの出会いがあっただろうか。いや、ない。何気なく推しを見ていると、あの時の記憶が蘇ったり蘇らなったり。気づけば涙なんかも流れちゃったり流れなかったり。元彼よ、覚えてか……。

男隈別オタク図鑑

お笑い芸人の推しを持つKさん (18歳女性)

推し	空気階段
推しへの月の平均出費	4千円
イベントに参加する頻度	年4回 (+配信ライブ年6回)
推し歴	1年半
きっかけ	YouTubeで空気階段のコント「みどり屋」を見て面白さに衝撃を受ける。
推しと家族、どちらを優先?	家族
推しへの愛語り	コントもラジオもサイコウサイコウ! ずっと2人で喧嘩してくれればもうそれだけで幸せです。

月の出費割合



女性アイドルの推しを持つHさん (25歳女性)

推し	吉田朱里 (よしだあかり)
推しへの月の平均出費	0円
イベントに参加する頻度	年0回
推し歴	5年
きっかけ	当時のサークルの先輩に言われたショッキングな言葉をきっかけに、YouTubeでコスメを紹介する推しに出会う。
推しと家族、どちらを優先?	推し
推しへの愛語り	やらかしながらも、腐らずに強みや時流でうまくやっていると尊敬しています。女性アイドルには、「若さを消費する」という側面があり、セカンドキャリアを築きづらいのが現状です。しかし、彼女はコスメやファッション等の知識を活かして、新たな活動に乗り出しています。本当に凄いことだと思うし、応援しています!

〈イベントまで道のり〉

(イベントの日付が決定!)

その日から逆算して自分の体型に何が足りないのか、体重を何kg落とすかを考える。また当日の気候・イベント内容を考慮して、服を調達。

(イベントまで残り1週間!)

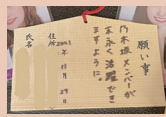
当日の化粧・ヘアスタイルを考える。また当日万全の体調でいけるように食事を調整。

(イベント前日!)

顔パックをつけて早く寝る。

(イベント当日!)

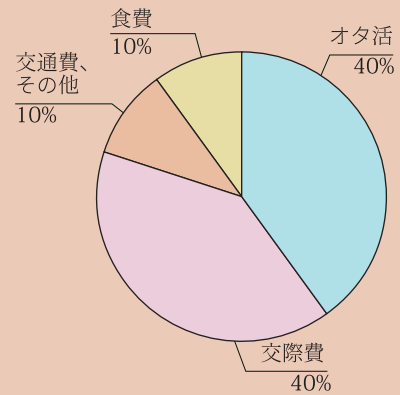
チケットを確認。遅刻しないように交通網をチェックし、いざ出発! 推しと話せるようなイベントの場合は、話題や質問を考えておく。



二次元の推しを持つTさん (18歳女性)

推し	狛枝風斗 (こまえたなぎと)
推しへの月の平均出費	5千円
イベントに参加する頻度	年2回
推し歴	8年
きっかけ	動くメモ帳の動画を見て、狛枝のまざまざとした狂気ぶりに惹かれた。
推しと家族、どちらを優先?	家族
推しへの愛語り	シリーズは完結したけど、一生好き! ずっとゲームをやり続けます。

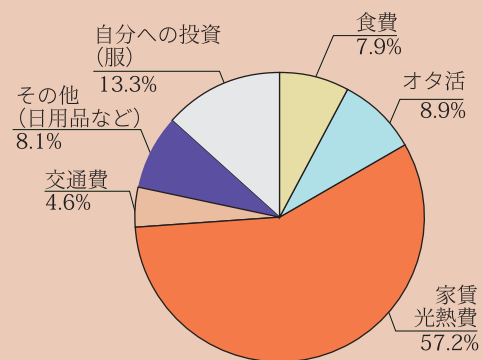
月の出費割合



男性アイドルの推しを持つNさん (19歳女性)

推し	大橋和也 (なにわ男子)
推しへの月の平均出費	1万円
イベントに参加する頻度	年2回
推し歴	約2年
きっかけ	TikTokでおすすめに流れてきた動画を見た。
推しと家族、どちらを優先?	推し
推しへの愛語り	常に一生懸命で人生をアイドル活動に捧げた人。顔も歌もダンスも良い。推しを見ると必ず元気をもらえます! 推しみたいな人になりたいって思います!

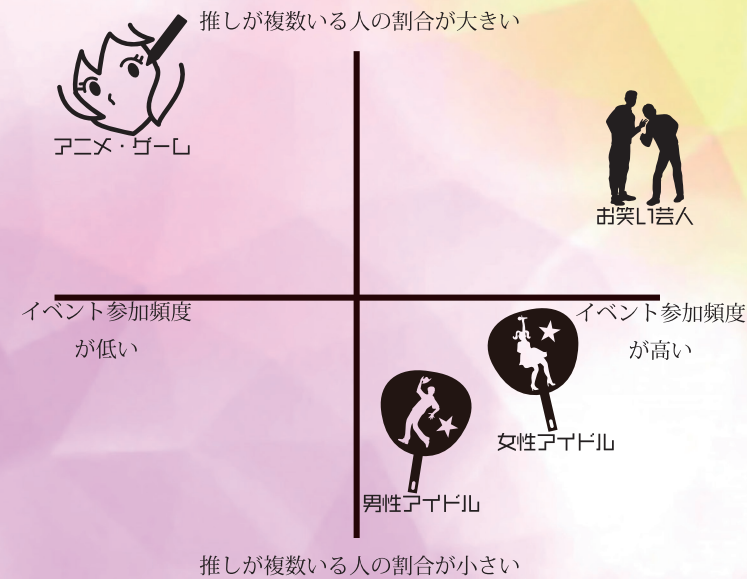
月の出費割合



25ページで行った企画「あなたの推しは誰？」にて上位にランクインした「男性アイドル・アーティスト」「女性アイドル・アーティスト」「アニメ・漫画・ライトノベル」「お笑い芸人」のオタクたちの実態をマトリクス化！「歴の長さ・出費」「推しの人数・イベントの参加頻度」にそれぞれ相関関係はあるのか？ 界限ごとのオタクの傾向が一目瞭然です！！



推しが複数いるかxイベント参加頻度



分析結果

歴の長さ×出費のマトリクスをみると、お笑い芸人オタクは歴の長さに関係なく多く出費している。また、男性アイドルオタクは女性アイドルオタクと比べて推している歴が長く出費も多いため、対称的な立ち位置と言える。さらに、アニメ・ゲームオタクは推しの複数持ちが多いことが印象的だった。

フリーライター・横川良明さんにインタビュー



横川良明さん

フリーライター。テレビドラマ・演劇・映画などのエンタメを幅広く取材し、コラムを執筆。イケメン俳優オタクとしても知られており、著書『人類にとって「推し」とは何か、イケメン俳優オタクの僕が本気出して考えてみた』（サンマーク出版）では、「オタクあるある」やオタクの行動の心理について深く言及している。



推し活の在り方について

本書の「推しは自分の代理戦争である」という記述。その真意は——？



実は、この代理戦争は世の中にたくさんあります。親が自分の行きたかった大学に子どもを行かせようとしていたり、オリンピックで誰かが金メダルをとっているのを楽しんだり。自分では頑張ってもなかなか叶えられないことを他人に叶えてもらうことで、

自分も満たされると思うんです。ただあくまでその努力は当人のもので、「自分ではない」という点はわきまえた方が良いでしょう。自分と代理を同一視せず、その人の成功に勇気をもたせて、それを糧に自分の人生をどう好転させていくか。そこに意識を向けるのが大切だと思います。

推しに貢ぐ金額によって生じるオタクの格差をどう思うか

お金を出す人が上客扱いになるのは、経済として当然です。推しに大金を積む人たちは、その分努力や我慢をしているはずなので、それをひがむのは違うかなと。それより、自分も推しにお金を積めるくらい偉くなるというキャリアアップのモチベーションにできれば良いですね。または大金を積む人と無理に同じ土俵に立とうとせず、客としては上位だけオタクとしては同位くらいの認識であれば、ストレスにならないと思います。推しもお金を積んでくれる人がいないと生き残れないので、「自分の代わりに払ってくれてありがとう」と割り切ることが大切です。



愛の結晶「二次創作」は、作品にどんな良い影響を与えるか



公式からの供給だけでは足りないファンを活性化させ、そこで生じたポジティブなエネルギーが公式へお金という形で還元されますよね。特に漫画の世界に多くて、某週刊誌ではカップリングを前提に作品を作っている感じもあります。二次創作が盛り上がりがないとメディアミックスにつながらないため、二次創作の余白がある作品が意識されてるんじゃないでしょうか。私は2.5次元のオタクなのでよく舞台に行くのですが、カップリングが強いコンテンツほどチケットの売れ行きが良いように感じます。チケットの売れ行きとカップリングのタグ付をされた投稿数には相関関係があるんじゃないかなと思います。

オタクのファッション化で



【解説】オタクのファッション化とは？

昨今、オタクになること自体がブームとなっている。世間のブームが過ぎ去れば次の推しに乗り換えたり、アニメやドラマを2倍速で観てその作品の「オタク」を名乗ったりする人もいるのだとか。その「好き」の気持ち、軽くないですか？ 今、各界隈でオタクをザワつかせているこの現象を「オタクのファッション化」と定義し、このインタビューではその真に迫っていく。

最近「推し活」の様子をSNSに投稿し、自分がオタクであることを主張する人が増えてきた。「オタクは隠すもの」という従来のイメージから、どうして現在のようなオタク文化に変わってきたのか？



この現象は、もともとオタクをしていた人は今でもずっと隠し続けていて、その人たちとは別の「声の大きい」人が次々とオタク市場に参入してきているから、オタク全体の発言権が増したように見えるだけだと思います。これまでオタクを隠しつつやっていた人のもとにオタクを1つの楽しみとして始めた人が流れてきて、ある意味オタクの「種族」が増えたとも言えます。それで今は新しくオタクになった人が大多数に見えているんですね。またオタクの地位向上については、彼らが楽しんでる様子がSNSで可視化されたことが要因の1つです。オタクは他人の視線を気にせず自分の好きなものを突き詰められるから、狭苦しい現代でオタクという生き方が羨ましがられているのだと思います。だから少しでもオタクを楽しんでみたいという人が増えているのだろうし、私自身も若干その気はありますね。

オタクのファッション化をどう捉える？



「他者評価を気にせず自分の好きを貫く」というのがオタクの1つの定義としたときに、周囲の同調圧力でオタクになるのはそもそも「オタク」とは言えないと思います。同調勢力に染まるのももう古いですよ。本当にオタクになりたいのなら、誰がなんと言っても譲れないものや自分の性癖、自分が何が刺さる人なのかを知ることが大事です。周りに影響されてコンテンツを好きになるのは良いですが、その作品のどこがツボなのかを自分で分析してみるのをおすすめです。例えば、特定の登場人物の関係性が好きと気づいたら同じ性質を持った違う作品を追ってみると、どんどん楽しくなりますね。ファッションだとしても「オタクになりたい」という人には夢中になれる何か欲しいという純粋な気持ちがあるはずなので否定はしないで、色々なコンテンツに乗っかってみるのは良いことです。



インタビューに答えてくださる横川さん



インタビューホームを話 「横川さんの自身の推し活事情」



コロナ禍でイベントに行けない時期の乗り越え方

推しを複数持つのが有効だと思います。僕の場合、大好きな舞台がコロナ禍でなくなってしまうんですけど、そのときタイドラマにもハマっていて、そちらにシフトすることができたので辛くなかったです。ただ、(コロナが落ち着いて) 舞台に行けるようになったらタイドラマの方は卒業してしまいましたけどね(笑)。

書籍を出版してからこの1年で経験した「推しの結婚」について



書籍出版後に俳優H氏の結婚があって、推しへの熱量と結婚のダメージは比例しないと気付きました。自分の中でH氏よりも推す熱量が低かったはずの俳優S氏の結婚の方がショックだったんです。それは、自分の中でH氏はリア恋愛素がほぼゼロで神棚にかざっておきたいタイプだったのに対して、S氏はソファに座った時に隣にいてほしいタイプだったから。推しのタイプの違いによって結婚のダメージは異なるし、自分の場合、その違いは結婚したときにしかららないのだと気付きました。



インタビューを終えての 企画員の気付き

ご自身もオタクでありながら推し活やオタクの現状を俯瞰的に分析される横川さんの視点はとても深く鋭く、そして優しかった。オタクが市民権を得た現代では、オタク同士が対立することもある。しかし推し活の形に決して正解はなく、それぞれが自分の好きなものを追求することが肯定されるべきだとオタクである企画員自身も気づかされた。横川さんの気さくなオタクトークに触発され思いがけず企画員の推し活事情も露わになったが、オタクに優しい理想の世界をそこに見た気がする。

おわりに

この半年間、企画員一同は真摯に「オタクとは？」という果てしない問いに向き合ってきた。好きを突き詰める現代のオタクたちの推し活事情や、逆に好きの程度の違いから生まれる「オタクのファッション化」についても検討した。好きという曖昧な基準で形成されるオタクの属性からして一概には語れないが、1つだけはっきりと分かったことがある。それは「推しがいる人生ってさいこう！」ということ。さあ、読者の皆さんも推しの沼にどっぷりハマって、素敵な推し活ライフを送りましょう！